

日程表 & プログラム

プログラムの QR コードをスマートフォンやタブレット
で読み込むことで、抄録集が閲覧できます

第 137 回日本薬理学会関東部会 日程表

10 月 28 日 (土)

	受付	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	情報交換会会場	
	教育棟 2F ロビー	橋桜ホール (橋桜会館2F)	講堂 (教育棟 2F)	講義室2 (教育棟 2F)	講義室1 (教育棟2F)	橋桜会館3F	
10:00							
10:30	口頭発表 データ受付 10:30-13:00						
11:00							
11:30	総合受付(当日受付・ 事前登録受付・座長受 付・審査員受付) 10:30-16:30		学術評議員会 11:00-12:00				
12:00							
12:30		開会挨拶 12:20~					
13:00		特別講演 (12:30-13:30)					
13:30	総合受付 10:30-16:30						
14:00		教育講演 (13:35-14:25)	口演3 (中枢1) 13:30-14:35	口演6 (腎・泌尿器) 13:30-14:35	口演9 (細胞) 13:30-15:00		
14:30							
15:00		口演1 (末梢) 14:30-15:45	口演4 (中枢2) 14:35-15:40	口演7 (中枢4) 14:35-15:50			
15:30					口演10 (心・血管) 15:00-16:30		
16:00		口演2 (分子・細胞) 15:45-17:00	口演5 (中枢3) 15:40-16:55	口演8 (中枢5) 15:50-17:05			
16:30							
17:00							
17:30							
18:00							情報交換会 17:30-19:00
18:30							
19:00							

第1会場（橘桜ホール・橘桜会館2階）

12:30-13:30 特別講演

座長：鈴木 秀典（日本医科大学大学院医学研究科薬理学）



SL-1 ストレスとレジリエンスを司る分子・神経回路基盤と創薬への可能性

○古屋敷 智之

神戸大学大学院医学研究科薬理学分野 教授

13:35-14:25 教育講演

座長：古川 哲史（東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学）



EL-1 心筋自らがもつACh産生系 **non-neuronal cardiac cholinergic system** とその脳心連関のもつ意義

○柿沼 由彦




日本医科大学大学院医学研究科生体統御科学 大学院教授

第1会場（橘桜ホール・橘桜会館2階）

14:30-15:45 口頭発表1 末梢

座長：金田剛治（日本獣医生命科学大学獣医学部獣医薬理学研究室）
大内基司（獨協医科大学医学部薬理学講座）



- O1-1** 脾臓平滑筋のフェニレフリン収縮に対する各種選択的ホスホジエステラーゼ阻害剤の影響
○金田剛治¹⁾・三浦加奈子¹⁾・佐々木典康²⁾・田島 剛¹⁾・浦川 紀元¹⁾・清水一政¹⁾
日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 獣医薬理学研究室¹⁾ 獣医生化学研究室²⁾
- O1-2** ラット大動脈のフェニレフリン収縮に対する **nobiletin** の影響
○金田 寿子、大友 理恵子、浦川 紀元、清水 一政、金田 剛治
日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医薬理学研究室
- O1-3** 敗血症モデルにおける内臓脂肪内 **SerpinA1a** の発現とその意義について
 ○黒田陽仁¹⁾、田村和広¹⁾、松谷毅²⁾、松田明久²⁾、内田英二²⁾、吉江幹浩¹⁾、桑原直子¹⁾、立川英一¹⁾
¹⁾東京薬科大学、内分泌・神経薬理学教室、²⁾日本医科大学、消化器外科
- O1-4** 気道粘液産生抑制薬としての **ibudilast** の有用性とその機序
 ○石橋純平、堀江一郎、磯濱洋一郎
東京理科大学薬学部・応用薬理学研究室
- O1-5** チリダニ抽出物 (**HDM**) で誘発した気管支喘息モデルにおけるステロイド抵抗性の気道粘液産生亢進
 ○町田渉、堀江一郎、磯濱洋一郎
東京理科大学薬学部・応用薬理学研究室
- O1-6** オルガンバスを用いたラット摘出臓でのインスリン分泌評価と大豆由来トリプシン **inhibitor** によるインスリン分泌量変化の検討
○大内基司¹⁾、森田亜州華¹⁾、寺田節²⁾、佐藤慶太郎³⁾、大谷直由⁴⁾、林啓太郎¹⁾、安西尚彦⁵⁾、藤田朋恵¹⁾
¹⁾獨協医科大学医学部薬理学講座、²⁾獨協医科大学実験動物センター、³⁾朝日大学歯学部歯科薬理学分野、⁴⁾大分大学医学部臨床薬理学講座、⁵⁾千葉大学大学院医学研究院薬理

第1会場（橘桜ホール・橘桜会館2階）

15:45-17:00 口頭発表2 分子・細胞

座長：山下直也（順天堂大学医学部薬理学講座）

武半優子（聖マリアンナ医科大学薬理学）



O2-1 トランスサイトosisを介したTrkAの軸索への局在化機構

○山下直也^{1,2}、Kuruvilla Rejji²

¹順天堂大学医学部薬理学講座、²Department of Biology, Johns Hopkins University

O2-2 IgEは皮膚の肥満細胞を増加させる



林亜佳音、中村達朗、村田幸久

東大・農・放射線動物科学

O2-3 5-フルオロウラシルによる腸管上皮細胞のアポトーシスはセロトニン3A受容体シグナルを介して増強される



○三河翔馬・梶典幸・三原大輝・尾崎博・堀正敏

東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医薬理学教室

O2-4 間葉系幹細胞の全身性投与は神経障害性疼痛を緩和する

○池畑農¹、宮野加奈子²、大島佳織^{2,3}、吉田有輝^{2,4}、隠岐勝幸¹、白石成二²、野中美希²、宇津美秋²、吉澤一巳³、樋上賀一⁴、上園保仁²

1. 株式会社バイオミメティクスシンパシーズ 2. 国立研究開発法人国立がん研究センター 研究所 がん患者病態生理研究分野 3. 東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室 4. 東京理科大学 薬学部 分子病理・代謝学研究室

O2-5 神経変性疾患関連凝集タンパク質を標的とした分解誘導薬の創製

○野村さやか^{1,2}・友重秀介²・山下博子²・大金賢司²・橋本祐一²・石川稔²

¹防衛医科大学薬理学講座、²東京大学分子細胞生物学研究所

O2-6 CYP2D6のpHに着目した分子動力学計算

○大滝正訓¹、武半優子¹、太田有紀¹、渡辺実²、中村悠城¹、渡邊大輝¹、小林司¹、飯利太郎¹、松本直樹¹

¹聖マリアンナ医科大学薬理学 ²聖マリアンナ医科大学大学院実験動物飼育管理研究施設

第2会場（講堂・教育棟2階）

13:30-14:35 口頭発表3 中枢1

座長：廣瀬謙造（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経生物学分野）

伊藤政之（国立精神・神経医療研究センター神経研究所病態生化学研究部）



O3-1 興奮性/抑制性バランスの維持におけるパルミトイル化によるAMPA型グルタミン酸受容体制御の役割

○伊藤政之¹、山下真梨子¹、山田大輔²、奥野浩行³、阿部学⁴、山崎真弥⁴、夏目里恵⁴、金子雅規¹、貝塚利恵¹、崎村建司⁴、関口正幸²、和田圭司²、星野幹雄¹、三品昌美^{5,6}、林崇^{1,6}

¹国立精神・神経医療研究センター神経研・病態生化学、²国立精神・神経医療研究センター神経研・疾病4部、³京大・医、⁴新潟大・脳研・細胞神経生物、⁵立命館大・総研・脳科学、⁶東大院・医・分子神経生物

O3-2 Positive allosteric modulator による μ オピオイド受容体の細胞内シグナル制御機構の解析



中浜 萌¹、水上想莉¹、関口美緒¹、風祭英人¹、有馬崇充¹、河田美穂¹、成田道子¹、葛巻直子¹、上園保仁²、成田 年^{1,3}

(1)星薬科大学 薬理学教室 (2)国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理分野
(3)星薬科大学 先端生命科学研究所 (L-StaR)

O3-3 視床下部室傍核 μ -オピオイド受容体を介した弓状核 POMC 神経の活性化は抗腫瘍免疫を増強する



○金尾奈穂美¹、濱田祐輔¹、伊藤 航¹、藤森由梨¹、吉田小莉¹、成田道子¹、田村英紀²、手塚裕之²、鈴木雅美³、山中章弘⁴、葛巻直子¹、成田 年^{1,2}

1)星薬科大学・薬理学教室 2)星薬科大学・先端生命科学研究所 (L-StaR) 3)国立がん研究センター研究所・がんゲノミクス研究分野 4)名古屋大学・環境医学研究所神経系分野II

O3-4 中枢神経系に発現するGPCR間の異種複合体形成と機能的相互作用



○坂入伯駿¹、上窪裕二¹、田端俊英²、櫻井隆¹

¹順天堂大・医・薬理、²富山大・院・理工(工)・神経情報工学

O3-5 内在性神経毒類似タンパク質Ly6Hによるニコチン受容体調節



○渡邊みずほ¹、森脇康博¹、久保那月¹、加藤総夫²、三澤日出巳¹

¹慶應義塾大学 薬学部 薬理学講座 ²東京慈恵会医科大学 神経科学研究部

第2会場（講堂・教育棟2階）

14:35-15:40 口頭発表4 中枢2

座長：繁富英治（山梨大学大学院総合研究部薬理学講座）

林 崇（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）



O4-1 アストロサイト微細突起Ca²⁺シグナルにおけるP2Y1受容体の役割

○繁富英治¹、平山幸歩¹、小泉修一¹

¹山梨大学大学院薬理学講座

O4-2 長時間の生体イメージングを可能にする再生可能蛍光分子タグ・プローブ技術の開発



○林康文、浅沼大祐、並木繁行、廣瀬謙造

東京大学大学院医学系研究科神経生物学

O4-3 Muscimolが無麻酔非拘束ラットの側坐核の細胞外アセチルコリン量に及ぼす効果

○渡邊由梨子¹、青野悠里²、小宮 正道¹、三枝 禎²

日本大学松戸歯学部 口腔外科学講座¹、薬理学講座²

O4-4 マイクロRNA382のエクソソームを介した分泌機構と標的遺伝子の解析



○木村貴洋 田中智美 佐々木幸生

横浜市立大学大学院 生命医科学研究科 機能構造科学研究室

O4-5 BDNFを介したニューロン-マイクログリア相互作用



○小野寺 純也、小山 隆太、池谷 裕二

東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室

第2会場（講堂・教育棟2階）

15:40-16:55 口頭発表5 中枢3

座長：三澤日出巳（慶應義塾大学薬学部薬理学講座）

黒川和宏（国際医療福祉大学薬学部薬理学分野）



O5-1 ADHDモデルラット前帯状皮質抑制性シナプスにおけるドーパミンの修飾効果

○佐藤寛栄、齋藤文仁、鈴木秀典

日本医科大学 薬理学

O5-2 担がんマウスにおける恐怖記憶の変化と脳内サイトカインの関与



○今井 貴士¹、池田 弘子¹、米持 奈央美¹、清水 孝恒²、亀井 淳三¹

¹星薬科大学 薬物治療学教室 ²星薬科大学 病態生理学教室

O5-3 認知症モデルマウスにおけるoxytocinの学習・記憶改善作用



○植田 雄大^{1,2}、濱田 幸恵¹、秋田 智后²、山下 親正²、岡 淳一郎¹

¹東京理科大学薬学部薬理学研究室、²DDS・製剤学研究室

O5-4 ストレス適応障害におけるexcitatory amino acid transporter 2のコビキチン修飾の関与

○宮岸寛子、辻 稔、齋藤淳美、黒川和宏、宮川和也、武田弘志

国際医療福祉大学 薬学部 薬理学分野

O5-5 急性拘束ストレス負荷マウス的大脑皮質における過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャンネルの役割

○黒川和宏、宮川和也、宮岸寛子、齋藤淳美、辻稔、武田弘志

国際医療福祉大学・薬学部・薬理学分野

O5-6 胎仔期低酸素で惹起される行動異常と選択的セロトニン再取り込み阻害薬による介入

永野玲子¹、永野昌俊²、中井章人¹、竹下俊行¹、鈴木秀典²

¹日本医大・産婦人科、²日本医大・薬理

第3会場（講義室2・教育棟2階）

13:30-14:35 口頭発表6 腎・泌尿器

座長：小原圭将（東邦大学薬学部薬理学教室）

浅井 聡（日本大学医学部薬理学分野）



O6-1 限外ろ過膜を利用したコリンエステラーゼ(ChE)阻害薬のアセチルコリンエステラーゼ(AChE)活性阻害作用の持続性の検討と解離反応の解析

○小原圭将、田中芳夫
東邦大学薬学部薬理学教室

O6-2 酢酸誘発慢性腎不全マウスモデルの確立



○與儀早和子、橋本光正、本田一男、野部浩司
昭和大・薬・生体制御機能薬学・薬理

O6-3 Na⁺依存性モノカルボン酸トランスポーター SMCT1と結合PDZタンパク質 PDZRN3のタンパク質相互作用の解明



○大塚裕介^{1,5}、大野雄太²、大谷直由³、Jutabha Promsuk⁴、降幡知巳¹、林啓太郎⁴、大内基司⁴、鶴岡秀一⁵、安西尚彦^{1,4}

¹千葉大学大学院医学研究院薬理学、²岐阜大学附属病院薬剤部、³大分大学医学部臨床薬理学講座、⁴獨協医科大学医学部薬理学講座、⁵日本医科大学大学院医学研究科腎臓内科学講座

O6-4 腎尿酸排泄低下型モデル作成と *in vivo*におけるカルシウムチャンネル阻害薬による尿酸排泄効果の検討

○森田亜州華¹、堀貴行^{1,2}、大内基司¹、大塚雄介^{3,4}、大谷直由⁵、ジュタバプロムスク¹、藤田朋恵¹、安西尚彦³

¹獨協医科大学医学部薬理学講座、²獨協医科大学医学部心臓・血管外科学講座、³千葉大学大学院医学研究院薬理学、⁴日本医科大学大学院医学研究科腎臓内科学講座、⁵大分大学医学部臨床薬理学講座

O6-5 医学部薬理学実習における臨床データベースの活用(*in silico*実習)

○浅井 聡
日本大学・医学部・薬理学分野

第3会場（講義室2・教育棟2階）

14:35-15:50 口頭発表7 中枢4

座長：大久保洋平（東京大学大学院医学系研究科細胞分子薬理学）
北條泰嗣（埼玉医科大学医学部生化学）



07-1 マウス前部帯状回皮質の神経回路オシレーション、および、プレパルス抑制に対するグルココルチコイドの影響

○北條泰嗣¹、松永洸昂¹、小松睦実¹、伊藤健治¹、瀧澤恵子²、野口彩紀子²、伊藤吏那¹、中野貴成¹、橋爪幹¹、村越隆之¹

¹埼玉医科大学医学部生化学、²埼玉医科大学保健医療学部健康医療科学科

07-2 電気けいれん刺激による海馬神経成熟マーカー発現変化に関する細胞内シグナルの探索

○川崎真由¹、井本有基²、瀬木(西田)恵里^{1,2}

1.東京理科大学大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻 2.京都大学大学院 薬学研究科

07-3 電気けいれん刺激による海馬でのオステオグリシン発現変化とその機能探索



○山本芙実¹、井本有基²、瀬木(西田)恵里³

1)東京理科大学大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻 2)京都大学大学院 薬学研究科

07-4 電気けいれん刺激による海馬神経の生存・分化への影響



○上野美由紀¹、井本有基²、瀬木(西田)恵里^{1,2}

1)東京理科大学大学院 基礎工学研究科 生物工学専攻 2)京都大学大学院 薬学研究科

07-5 スルファチドによるアロディニアの惹起



○森田元樹、渡辺俊、野村夏実、尾山実砂、岩井孝志、田辺光男
北里大薬薬理

07-6 GABAトランスポーター阻害による内在性GABA増強が成熟マウス脊髄後角シナプス伝達に与える影響

○尾山実砂、渡辺俊、岩井孝志、田辺光男
北里大学薬学部薬理教室

第3会場（講義室2・教育棟2階）

15:50-17:05 口頭発表8 中枢5

座長：村越隆之（埼玉医科大学医学部生化学）

森 友久（星薬科大学薬理学教室）



O8-1 ササヘルスのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用

坂上宏¹、増田宜子^{1,2}、友村美根子^{1,3,5}、横瀬敏志²、友村明人³、○岩間聡一⁴、中川美香⁴、鈴木隼人⁴、田中健大⁴、阿部智之⁴、大石洋平⁴、田村暢章⁴、竹島浩⁴、鈴木龍一郎⁶、白瀧義明⁶、辻まゆみ⁷、木内裕二⁷、堀江憲夫⁸、名取威徳⁹、堀内美咲¹⁰、勝呂まどか¹⁰、大泉浩史¹⁰、大泉高明¹⁰

明海大学¹ 歯科医学総合研究所(M-RIO)・²歯学部保存治療学・³生化学・⁴高齢者歯科学・⁵総合教育センター、⁶城西大学薬学部生薬学、⁷昭和大学医学部医科薬理学、⁸埼玉医科大学総合医療センター歯科口腔外科、⁹帝京平成大学薬学部医薬有機化学ユニット、¹⁰大和生物研究所

O8-2 L-DOPA 受容体候補分子 GPR143 のマウス腹側被蓋野及びその投射野における分布



○瀧澤光太郎¹、古賀資和¹、増川太輝¹、中村史雄²、五嶋良郎¹

¹横浜市立大学医学部 分子薬理神経生物学 ²東京女子医科大学医学部 生化学

O8-3 GPR143 遺伝子欠損マウスにおけるメチルフェニデート、コカイン及びニコチンの行動に及ぼす効果



○金井香央里、増川太輝、古賀資和、北村慧、角田貴大、五嶋良郎

横浜市立大学大学院医学研究科 分子薬理神経生物学教室

O8-4 Fyn による CRMP1 のチロシンリン酸化は Semaphorin 3A 情報伝達に関与する



○河嶋 岳¹ 中村 史雄^{1,2} 五嶋 良郎¹

¹横浜市立大学大学院医学研究科 分子薬理神経生物学 ²東京女子医科大学医学部 生化学講座

O8-5 バイカレインの神経炎症抑制を介した脱髄抑制効果



○橋本 真歩¹、山本 梓司¹、石川 将己¹、岩佐 健介¹、丸山 敬¹、
Francesca Bosetti²、吉川 圭介¹

¹埼玉医科大学 医学部 薬理学 ²National Institute of Health

O8-6 末梢神経髄鞘化における低酸素応答系の関与

○氏家 悠佳、若月 修二、荒木 敏之

国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第五部

第4会場（講義室1・教育棟2階）

13:30-15:00 口頭発表9 細胞

座長：坂上 宏（明海大学歯科医学総合研究所 (M-RIO)）

木内祐二（昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門）



O9-1 アミノ酸トランスポーター LAT1は脊索及び眼の発生に必須である

○堅田智久、櫻井裕之

杏林大学医学部薬理学教室

O9-2 LAT1阻害薬はアポトーシスによらずに癌細胞増殖を抑制する



○江藤晃一郎、山賀貴、櫻井裕之

杏林大学 医学部 薬理学教室

O9-3 トリプルネガティブ乳がんNon-Basal TypeにおいてmiR-195発現増加がWnt/ β -cateninシグナル経路を不活化する

○岡崎 敬之介^{1,3,4)}、佐々木 晶子¹⁾、古屋貫治^{1,2)}、辻まゆみ¹⁾、宇高結子¹⁾、
小山田英人¹⁾、木内祐二¹⁾

¹⁾昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門、²⁾昭和大学藤が丘病院整形外科、³⁾昭和大学薬学部病院薬剤学講座、⁴⁾昭和大学病院薬局医薬品情報管理室

O9-4 培養ヒト滑膜肉腫細胞に対するメカニカルストレス負荷関節炎モデルの確立

○小林 義人、宇高 結子、白子 春菜、辻まゆみ、木内 祐二

昭和大学医学部薬理学講座(医科薬理学部門)

O9-5 リボソームプロファイル法を用いた乳癌幹細胞の増殖制御因子の探索

○平田尚也^{1,2)}、山田茂^{1,2)}、中林一彦³⁾、秦健一郎³⁾、諫田泰成¹⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所・薬理部、²⁾日本薬理評価機構、³⁾国立成育医療研究センター・周産期病態研究部

O9-6 オーロン誘導体の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析

○植沢芳広¹⁾、坂上宏²⁾、池添成彦³⁾、高尾浩一³⁾、加賀谷肇¹⁾、杉田義昭³⁾

¹⁾明治薬科大学臨床薬剤学、²⁾明海大学歯科医学総合研究所(M-RIO)、³⁾城西大学薬学部生物有機化学

O9-7 ピペリン酸エステル誘導体の構造活性相関：腫瘍選択性とアポトーシス誘導

○坂上宏¹⁾、植沢芳広⁵⁾、増田宜子^{1,2)}、友村美根子^{1,3,4)}、金本大成⁶⁾、寺久保繁美⁷⁾、
宮城昂幹⁸⁾、村井淳一⁸⁾、高尾浩一⁸⁾、横瀬敏志²⁾、加賀谷肇⁵⁾、中島秀喜⁷⁾、
杉田義昭⁸⁾

明海大学¹⁾歯科医学総合研究所(M-RIO)・²⁾歯学部存治療学・³⁾歯学部生化学・⁴⁾総合教育センター、
⁵⁾明治薬科大学臨床薬剤学、⁶⁾昭和薬科大学薬学部微生物学、⁷⁾聖マリアンナ医科大学微生物学、
⁸⁾城西大学薬学部生物有機化学

第4会場（講義室1・教育棟2階）

15:00-16:30 口頭発表10 心・血管

座長：梅村和夫（浜松医科大学薬理学講座）

呉林なごみ（順天堂大学医学部薬理学）



O10-1 動物血栓モデルにおけるレーザ血栓溶解システムの有効性および安全性

○松本祐直¹、外村和也¹、山下大輔²、清水良幸²、高田洋平²、小杉壮²、玉置善紀²、川嶋利幸²、山下豊²、岡田裕之²、中山禎司³、梅村和夫¹

¹浜松医大・医・薬理、²浜松ホトニクス、³浜松医療センター・脳外

O10-2 心電図に潜在する呼吸リズム



○佐藤元重、松本信圭、池谷裕二

東京大学大学院薬学系研究科 薬品作用学教室

O10-3 MVP法を用いたヒトiPS細胞由来分化心筋細胞の心臓部位特異的な薬効評価技術の開発



○鈴木結衣¹、佐野優介¹、高橋健太郎²、児玉昌美²、諫田泰成^{2,3}、山口賢彦¹、古川哲史²、黒川洵子^{1,2}

1. 静岡県立大学薬学部、2. 東京医科歯科大学難治疾患研究所 3. 国立医薬品食品衛生研究所薬理部

O10-4 異なる動物種の洞房結節自動房における細胞内Ca²⁺の関与



○實方健人、瀧口正悟、行方衣由紀、田中光

東邦大・薬・薬物学教室

O10-5 Streptozotocin誘発性糖尿病マウス心筋αアドレナリン受容体刺激の陰性変力反応に対する活動電位持続時間延長の影響



○金江春奈 若杉結美 瀧口正悟 行方衣由紀 田中光

東邦大学薬物学教室

O10-6 雌性肥満OLETFラット上腸間膜動脈における内皮由来過分極誘発弛緩反応



○大橋 沙央里、松本 貴之、安藤 眞、小林 翔太、井口 舞香、大島 早貴、大田 優香、尾関 ありさ、竹野 直、谷 めぐみ、田村 愛、上岡 平、田口 久美子、小林 恒雄

星薬科大学 機能形態学

O10-7 Spontaneously hypertensive rat 摘出大腿動脈におけるnoradrenaline収縮増強メカニズム



○井口舞香、松本貴之、安藤眞、小林翔太、田口久美子、小林恒雄

星薬科大学 機能形態学

第 137 回 日本薬理学会関東部会
プログラム

会 長：鈴木 秀典

事務局：日本医科大学大学院医学研究科 薬理学分野
〒 113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5
TEL: 03-3822-2131 (内線 5277) , FAX: 03-5814-1684
E-mail: 137kanto-bukai@nms.ac.jp

出版・ホームページ：日本プリプレス株式会社
〒 162-0834 東京都新宿区北町 29
TEL: 03-6457-5903 FAX: 03-6457-5904
E-mail: contact@jprepress.jp